

# プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.37

2023年1月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



院長挨拶  
年頭挨拶

社会課  
赤十字ってvol.1

栃木県初  
メディカルナビタ設置

マイタウン・マイホスピタル  
ミニニュース

お知らせ

新年のごあいさつ  
申し上げます。



～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～



井上 晃男 院長

## 年頭挨拶

那須赤十字病院 院長 井上 晃男

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症が発生してから3年が経ち、久しぶりの行動制限のない正月を祝うことができました。皆様は穏やかな新年を迎えられましたでしょうか。

私が当院の院長に就任して10ヶ月を過ぎようとしています。短い期間に貴重な経験をすることができました。記憶に新しいのは「サッカーワールドカップ」です。日本代表は何度も格上を倒す活躍で予選リーグを1位で

通過することができました。決勝トーナメントでは善戦するもPK戦で敗退してしまいましたが、我々は彼らを誇らずにはいられません。競技に向う姿勢だけでなく後片付けまで世界に称賛されるものでした。サポーターも同様に、スタジアムのゴミ拾いを通してその美しい精神が称えられていました。この姿勢は他国にも影響を及ぼすものだと思っています。我々病院スタッフもこの選手やサポーターたちのように厳しい状況を乗り越えてきており、当院にとってのサポーターに当たる地域の皆様にもたくさん応援をいただいております。

3年間絶え間なくコロナウイルス感染症の話題ばかりで社会も暗くなるばかりです。そんな中で当院は、新たな取組みと話すべきか、私の得意分野である地域連携を通して東北地域で安心して医療を受けることができるように、また人々のつながりが明るい未来を照らす一助になってはくれないかと考えています。当院にかかれる患者さんとそのご家族が安心できるその背景

には、地域の登録医の先生方のサポートがあるからだと考えています。私はその地域医療の中心を那須赤十字病院と考え、地域に分け隔てのない医療提供を行ってまいります。具体的に私がやることは、地域の登録医の先生方を訪問し「ご用聞き」として当院への期待を把握すること、その逆に登録医の先生方にも当院への期待や信頼を持っていただくことです。病院長である私が登録医の先生方を訪問するのは今だけではありません、私が病院長であるかぎり回り続けます。こういった草の根活動こそが最大の地域リソースであると考えています。

地域連携を達成させるために私が行うべきもう一つは、医師の確保です。登録医の先生方からの信頼や期待に応えることのできる地域の中隔病院であるために、医師を確保していく必要があります。循環器分野、整形外科分野やがん（乳癌、血液）分野では地域に多大な貢献をしていると自負しています。この分野のさらなる強化と他分野の拡充を行うことで地域に貢献して参ります。



# +++赤十字って+++

みなさん、「赤十字と聞いて、どう思い浮かびますか。」私は仕事上、学生や近隣の方と会う機会があり、この質問を問いかけるようにしています。概ね「献血」と答える方が多いです。

「赤十字って」を通じて、あまり知られていない病院の仕事や義援金の受付など、赤十字の事業について多くのおみなさんにより赤十字を知ってもらえるように連載を始めさせていただきますことになりました。

## Vol. 1 赤十字のなりたち

「この人がいなかったら、今の赤十字って存在したの？」に着目して歴史に触れさせていただきます。

一八五九年六月、スイス人の実業家アンリー・デュナンはイタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで四万人にのぼる死傷者の悲惨なありさまを目撃しました。デュナンはすぐに村人たちと協力して、戦場に倒れた負傷者を教会に収容するなど懸命に救護を行いました。デュナンは、「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い生命は救われなければならない」との信念のもとに救護活動にあたりました。ジュネーブに戻ったデュナンは、自ら戦争犠牲者の悲惨な状況を語り伝えるとともに、一八六二年



十一月『ソルフェリーノの思い出』という本を出版しました。この中で、

- 戦争の負傷者と病人は敵味方の区別なく救護すること
- そのための救護団体を平時から各国に組織すること

●この目的のために国際的な条約を締結しておくこと

の必要性を訴えました。その結果誕生したのが赤十字です。一八六三年、戦争で傷ついた人びとを敵味方の区別なく救うことを志したデュナン等五人のスイス人が集まり、今日の赤十字運動の最初の機関であり「赤十字国際委員会（ICRC※）の前身です。デュナンの訴えは世界各地で共感を呼び、同年、スイス等十六カ国が「赤十字規約」を採択し、各国に戦時救護団体が組織されました。そして、緊急時のために平時から備え、互い連絡を保つ体制の基礎をつくりました。

※ International Committee of the Red Cross

紛争地域において、暴力の応酬に苦しんでいる人々に寄り添い、人間としての尊厳と生活を守りたい。その理念のもと、四つの領域で活動しています。「保護」「支援」「連携」「予防」

## 赤十字クイズ

アンリー・デュナンはノーベル平和賞を受賞していますが、次のうち第何回の受賞者でしょうか。



- ① 第一回    ② 第四回    ③ 第十回  
答えは、次号で発表いたします。

## NEXT Vol. 2

日本赤十字社の成り立ちと歴史



# 栃木県内で初！那須赤十字病院に 「メディカルナビタ」を設置 ～11月24日より、サービス提供開始～



当院は、栃木県内で初めて表示灯株式会社（本社：愛知県名古屋市中区）の開発したメディカルナビタを設置し、11月24日（木）より運用を開始いたしました。那須赤十字病院は「マイタウン・マイホスピタル」地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に「」の基本理念を掲げ、栃木県北の地域医療のさらなる発展と患者さんに信頼されるより良い病院を目指して地域の安全・安心、地域医療レベルのさらなる向上を図っており、その活動の一環として「メディカルナビタ」を栃木県内で初めて設置いたしました。



今回設置されたメディカルナビタは、1階エントランスホール出入口の動線上に設置し、どなたでも利用することができます。また、地域医療支援病院である当院が連携を行っている地域の各医療機関リストをQRコードを介しスマートフォン等で取得できるサービス「e-メディアケアサーチ」も搭載しており、院内外の垣根を超えた地域医療連携推進の一助となることを目指しています。

メディカルナビタはLED内照式の周辺地図案内と、55インチのタッチパネルモニター（ロール放映式の電子看板）およびパンフレットラックで構成されています。連携する近隣の医療機関を地区及び診療科目ごとに検索（サービス開始時：148連携医療機関）できるほか、お知らせ（病院広報、広告、ニュース、天気・気象情報を表示・周知）することができます。

\* タッチパネルには抗菌シートを貼っておりますので安心してお使いください。

## 6月 救護訓練

日本赤十字社防災業務計画で「すべての職員に対して災害救護に関する研修や訓練を実施」しています。今回は救護班の先輩から、入職2・3年目の職員に対して訓練を実施しました。訓練の内容は団体行動や野外テント設営、患者搬送でした。



患者搬送のお手本です。

## 7月 新人教育

コロナ禍の中でも、感染対策をしながら新人看護師が患者さんと接する前に、教育担当者と共に演習を行います。患者さんに安全に技術が提供できるように学習します。



メモをとりながら真剣に聞いています。

## 11月 防災訓練

2回/年に開催が義務づけられている防災訓練をコロナ禍のため規模縮小で行いました。これまで作成したマニュアルや災害用カルテが運用に足るか見直しを兼ねての訓練となりました。



配役を決めて机上の訓練を実施しました。

## 12月 託児所のクリスマス会

新型コロナウイルス感染症のため託児所の子供たちも少人数対応として2チームに分かれています。サンタさんはどちらにも来てくれました。



サンタさんがやってきた。

## 那須赤十字病院の役割

### 那須赤十字病院は「急性期病院」です

急性期病院とは、救急車などで搬送される緊急・重症の患者や、地域の医療機関からの紹介患者に対し、高度な専門治療を行なう病院です。

治療が落ち着いたら、かかりつけ医あるいは近くのクリニックなどへご紹介いたします。

急性期・専門医療が必要になった際は、かかりつけ医の先生が病状に応じた病院を紹介してくれます。

「患者サポートセンター」や「かかりつけ医紹介相談窓口」を設置しておりますので、お困りのことがあればご相談ください。

詳しくは「那須日赤の使い方」(パンフレット)を配布しておりますので是非ご一読ください。



### 上手な医療のかかり方 .JP

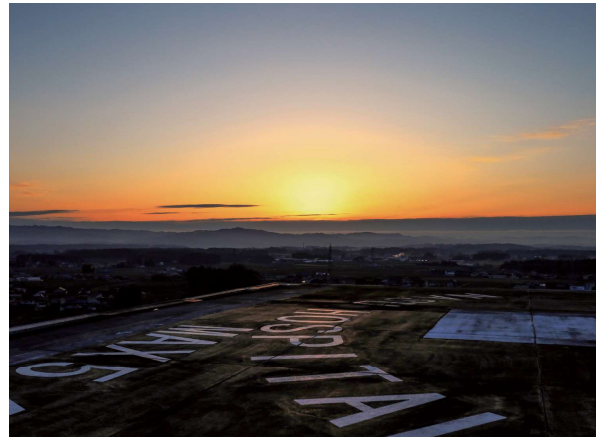
出典 (厚生労働省)

<https://kakarikata.mhlw.go.jp/>

加工 (厚生労働省)

<https://kakarikata.mhlw.go.jp/kakaritsuke/motou>

## 今月の表紙



1月4日仕事はじめに当院の屋上ヘリポートから日の出を撮影しました。新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、新しい1年が健やかであるようにと願いを込めました。

## 編集後記

あけましておめでとうございます。

コロナ禍で閉塞感を抱えてる人も多いのではないのでしょうか。

今年は「卯年」になります。卯は優しく温厚な性質であることから「家内安全」と、跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

災害のない平穏な年でありますことを心から願い、本年も引き続き「プラタナス」のご愛読をよろしく願いたします。

(一事務員)

## 那須赤十字病院

基本理念

日本赤十字社

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

## プラタナス 那須赤十字病院広報誌プラタナス No.37

発行日 2023年1月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <https://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷